

広報武雄編集業務 企画提案書作成要領

この「広報武雄編集業務 企画提案書作成要領」（以下、「作成要領」という。）は武雄市が実施する「広報武雄編集業務」（以下、「本業務」という。）に関し、プロポーザルに参加しようとするために、必要な事項を定めるものである。

プロポーザル参加者は、「広報武雄編集業務 公募型プロポーザル説明書」を確認の上、作成要領により、必要な書類を提出するものとする。

1 企画提案書

(1) 提案内容

- ①提出する広報武雄（特集ページ）試作版について記載すること。
- ②別紙「企画提案書提案事項一覧」の各提案項目について、「広報武雄編集業務委託仕様書」の趣旨に沿って提案すること。
- ③提案は、全て提案書に記載すること。
- ④提案は1者につき1提案とし、提出後の変更・加筆は一切認めないこと。

(2) 様式

様式5により企画制作概要を示すこと。

2 広報武雄（特集ページ）試作版

(1) 特集テーマ

- ①別紙「試作版用特集企画書」参照
- ②タイトルも提案すること。

(2) ページ構成等 ※広報武雄 No132（2017年2月号）の4P～8Pを参照

- ①試作版はA3版フルカラーで作成・提出すること。
- ②5ページになるように作成すること（1ページ目はA3の左ページに配置すること）。
- ③ページ数を各ページの下部へ表示すること。

(3) 参考資料

次の素材をCDで提供する。受け取り場所は武雄市企画部広報課。

- ・新庁舎の写真素材
- ・広報武雄 No132（2017年2月号）のAIデータ

3 広報武雄編集業務委託見積書

- (1) 本業務の実施に要する費用の内訳（項目、数量、単価、金額等）を明らかにした見積書を提出すること。（任意様式）

4 提案書等の提出部数

- (1) 広報武雄編集企画提案書（様式5） 1部
- (2) 広報武雄（特集ページ）試作版 7部
- (3) 広報武雄編集業務委託見積書 1部

「試作版用 特集企画書」

■特集 みんなが集まる 新しい庁舎

■趣旨 平成30年5月7日に新庁舎がオープンした。

今度の庁舎は、ホールやトレインビューなど新しい庁舎の使い方を提案している。また、ホールにあるサイネージでは旬な情報を発信。

用事がなくても立ち寄れる、みんなが集まる、愛される庁舎として紹介する。

■施設情報

・ホール

広々とした空間。市役所の手続きの空き時間はもちろん、待ち合わせや打合せにもご利用ください。また、大型サイネージと合わせて一般の方の借用（プレゼンや会議などで利用）も可能です。

・大型サイネージ

武雄に関する動画の放映や#たけ推し（皆さんからの武雄のイチ推し情報）、天気予報や武雄に関するニュースなどを表示しています。

また、画面に触ると画面が切り替わり、武雄市に関するクイズや写真撮影用の壁紙が表示されます。

・カフェ、テナント

1階フロアには喫茶店とパン屋さんがあります。ホールで飲食可能。

・トレインビュー

電車の高架と同じ高さのテラスがあります。また、御船山も望める絶好のスポット。

・健康庁舎（健康器具）

トレインビューのテラスには健康器具を設置しています。また、庁舎の随所に健康になるための仕掛けがあります。ぜひ探してみてください。

・キッズルーム

ガラス張りのキッズルーム。週2回は抱っこボランティアもいますので、手続きの際ご利用ください。

・ロビーサイネージ

1階フロア4か所に縦型のサイネージを設置しています。皆さんにご覧いただきたい情報を表示します。

・議場

広々とした議場。議会開催中は傍観できます。ぜひお出でください。

・災害対策本部室

災害時には、情報集約・発信の拠点として機能する災害対策本部室。通常は職員の会議室として使用します

「企画提案書提案事項一覧」

1. 基本方針・企画・内容

項目	提案の概要・視点	審査基準	提案様式
1	<p>【様式 5】に基づき、誌面を制作すること。</p> <p>市民の市政への理解を深めるという広報誌の目的を踏まえ、誌面構成及び情報発信のあり方等について考え方を整理すること。</p>	<p>【基本方針】 広報誌の目的と期待する効果を理解し、その実現に有効なコンセプト、構成になっていること</p> <p>【訴求力】 デザインやレイアウトで市民の興味・関心を惹きつけるような工夫がされていること。</p> <p>【見やすさ】 文字や写真、イラスト等の色使いが適当で見やすい構成となっていること。</p>	様式 5 及び試 作版

2. 見積額

項目	提案の概要・視点	審査基準	提案様式
2	本業務の実施に要する費用を示すこと。	<p>【見積額】 見積額及びその根拠。</p>	見積書